



(別添)

2022年9月16日

NITE (ナイト)

独立行政法人製品評価技術基盤機構

製品安全センター大阪本部

# News Release

## 全国では事故の約4割が60代以上！

『はしごの上で作業しない』『脚立にまたがらない』  
～「はしご・脚立」の誤使用は大ケガにつながります～

### 1. 事故発生状況

NITE (ナイト) に通知された製品事故情報<sup>※1</sup>において、「はしご・脚立<sup>※2</sup>」に関する事故は、近畿地方2府4県(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)では、2017年度から2021年度までの5年間に23件ありました。

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故(ヒヤリハット情報(被害なし))を含みます。

(※2) 「踏み台」、「足場台」についても、この資料では脚立に含めています。

#### 1-1. 事故発生件数

##### (1) 年度別 府県別 事故発生件数

表1 年度別 府県別 事故発生件数 (単位: 件)

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
事故発生年度	2017年度			2	1	1		4
	2018年度			2	1	1		4
	2019年度	1		1	1			3
	2020年度	2	3	1	3			9
	2021年度			1	1		1	3
合計	事故件数	3	3	7	7	2	1	23

##### (2) 府県別 被害件数

表2 府県別 被害状況 (単位: 人)

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
被害状況	重傷	1	3	5	1	1	1	12
	軽傷	2		2	6	1		11
合計	被害者数	3	3	7	7	2	1	23

## 2. 事故事例の概要

### 脚立の誤使用・不注意による事故①

事故発生年月 2020年5月（兵庫県、60歳代・男性、重傷）

#### 【事故の内容】

はしご兼用脚立を脚立状態で使用中、転落し、右手首を負傷した。

#### 【事故の原因】

使用者が当該製品の天板にまたがって作業をしていた際に、作業していた壁面を強く押すなどしてバランスを崩して転倒したものと推定される。

なお、取扱説明書には、「作業中、脚立の上で壁や物を無理に押ししたり、引いたりしない。反動で脚立が不安定になり、転倒や転落の恐れがある。」旨、記載されている。

### 脚立の誤使用・不注意による事故②

事故発生年月 2020年5月（滋賀県、50歳代・男性、軽傷）

#### 【事故の内容】

踏み台を使用中、転倒し、軽傷を負った。

#### 【事故の原因】

当該製品の開き止め金具が掛からない状態で使用したことから、脚部が大きく開き、身体が天板に落下したものと推定される。

なお、取扱説明書には、「踏台を完全に開き、開き止め金具を確実にロックする。ロックが不十分な状態で使うと、脚が開閉し、転倒や転落の恐れがある。ロックできない場合は、絶対に使わないで廃棄する。」旨、記載されている。

## 3. 「はしご・脚立」の事故映像について

「はしご・脚立」に関する製品事故の再現映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像等をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE ロゴ」としてください。

#### （本件に関するお問い合わせ先）

〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北1-22-16

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター

製品安全広報課 課長 山崎 卓矢

担当者：製品安全広報課 安元 隆博、岡田 大樹

電話：06-6612-2066 mail：ps@nite.go.jp